

■第六中学校区 A-2 【理想の暮らしとありたい姿】

第1回 八王子市のみんなの未来を考えるワークショップ

公共交通

新交通のためのインフラ整備

環境に配慮した暮らし

使いやすいはちバス
バス路線の限界(車道も歩道も恐い。)
歩いて3分くらいにバス停が欲しい(自宅から)
小型のバスで良いので、本数と路線を増やす

道が狭い(バスが通っても大丈夫)
多少不便でもCO2の排出がない
自動運転車が行き違えるくらい
一人乗りの電気自動車
水素も電気も運用の問題
ソーラー発電もコストが高い
蓄電池の活用

毎日便利にくらいしてもゴミが出ない
真夏でも猛暑日(35度以上)にならない

交通の便利さ
便利で住みやすい

整備 交通手段の道具

エネルギーの工夫

詐欺に注意
八王子祭りによるつながり
住所、連絡先共有できるものは共有
困った時に近所に助けを求めづらい土壌がある
個人情報ゆきすぎ
小中学校におけるつながりの場の拡充
学校を中心につながりできれば
楽しいイベントが市内のいたる所で開催される
気軽に立ち寄れる料金の安いフェアがある
お互いの信頼関係(子どもの頃から)
近所の人々との助け合える
隣近所の人と気軽に話ができる
図書館を増やして欲しい小さくても良い
町会・子ども会の会員減少
リアル以外の方法でもつながれる環境
イベント情報がすぐわかるアクセスできる
民生児童委員以外の人でも気にかけてもらえる

住む地域によって課題が違う

高齢者

子育て世帯

サラリーマン

いろいろな世代がつながる

暮らしやすい

車が自動運転となり、気軽に外出できる
御用聞き復活
車がなくても町の中の移動がスムーズ
様々な手続きが自宅できるようになる
買い物が自動配送されてくる

【子育て世帯】医療・教育の面で金銭的補助が充実している
【子育て世帯】安心して預けられる人が探せる
【受験生を有する世帯】特色のある教育システムを有する学校に安価でだれでも入学できる
リアルなつながりを必要としない

安価で高品質な住居で暮らせる
【通勤に時間がかかるサラリーマン】移動しなくても仕事ができる環境
【共働きの若い夫婦】意識しなくてもゴミが出にくい環境

近所ぐるみで子どもを見守る
安心して遊べる公園が欲しい
貧困家庭子ども食堂の食糧配布⇒近所とのつながり
話がしやすい公園

公的支援の申請が簡単にできる必要なサービスがいつでも受けられる
必要なサービスにすぐアクセスできる環境
犯罪や事故が少なく安全に暮らせる
介護のサービス
医療体制が充実していて安心して暮らせる
子育てのサービス

2040年には対面よりもネット環境が進んだ社会になる

災害に強い街

災害時どうするか(つながり希薄)
災害はいつ起きてもおかしくない
水害の心配がない
備えへの意識の希薄

災害時はもとより平時においても、地域の中で様々な世代がつながる

キーワード

豊かな自然の中で
だれでも安心して暮らせるまち

「いろいろな世代がつながる暮らしやすいまち」「環境に配慮した暮らし」「新交通のためのインフラ整備」「公共交通の整備」などを重視するとともに、「ネット社会が進んでも住民関係が希薄にならない」「自然環境が整備されている」まちにしたい